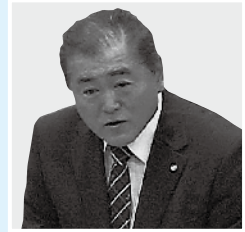


一般質問

若い子育て世帯の流出を抑え増加させる対策は

耕作放棄地の現状と減らすための対策は



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

問 若い子育て世帯に対して現在進めている対策は。また、増加させるための対策は。

答 良好な子育て環境の整備が重要と考え、結婚、妊娠、出産、子育ての各段階に応じた支援を進めている。婚活イベントの実施、住宅新築の奨励金、三世帯同居住宅改修助成金の支給等を実施している。また、安定した雇用のために力強い地域産業の育成に取組み、若い世代が安心して働ける職場を創り出していく必要がある。

問 現在の本市の耕作放棄地と再生が困難と見込

答 まれる放棄地の数、それらを減らす取組みは。耕作放棄地は2,143ha、森林の様相で再生困難と見込まれる荒廃農地は144筆、156,640㎡。市では、耕作放棄地の伐採、抜根の作業補助、再生後の作付種苗等の経費の助成を行っている。平成30年度から新たに、再生作業に伴う重機の借上費用の補助、土壌改良剤費用の助成を行う予定。また、中山間地域等直接支払制度事業や多面的機能支払交付金事業の取組み、担い手への農地集積を推進していく。

一般質問

商業活性化基本構想策定にあたっての背景は

人口減少対策は



加藤 建也

[市政刷新会議]

問 (仮称)「中心市街地商業活性化基本構想」策定にあたっての背景は。

答 地方都市が生き残っていくため、自立していくには何が必要なのか市民とともに考え、真に必要な具体性のある身近な事業を政策に反映させ、実行していくために策定に着手した。活性化の主体は市民、地域であり、市、まちづくり団体、商工会議所、商業者が連携・協力して取り組まなければならないものとする。

問 人口減少対策の取組みは。

答 結婚対策や子育て支援策、定住促進対策などいくつかの事業を総合的に行うことによって相乗的な効果につながるものと考えている。

問 どのような視点で、人口増加を図るのか。

答 本市では、転入と転出の差、いわゆる社会増減の減少数よりも、出生者数と死亡者数の差、いわゆる自然増減での減少数が大きい状況となっている。これを増加に転じさせるのは非常に難しいことから、人口減少対策に積極的に取り組み、人口減少率の抑制を図っていきたい。

一般質問

一人暮らし老人の居住対策は

橋梁の老朽化に対する維持補修の計画は



石井 馨

[あぶくま会]

問 一人暮らし老人居住用の集合住宅を各地の商店街近辺に設置し、ライフサポートアドバイザーの配置を加えたシルバーハウジング事業の導入の考えは。

答 現時点では具体的な計画はない。少子高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加していくことから、将来的な必要性について住宅施策担当部署と連携を図り検討していきたい。

問 建設後50年を経過する道路橋、河川管理施設の把握状況と対応策は。

答 建設後50年を経過している橋梁は50橋、河川は準用河川が7河川で、延長約13km。今後、50年を経過する土木施設が多くなることから、各施設のメンテナンスサイクルとして点検、診断、措置、記録を構築し、継続した取組みを進めながら、予防保全、早期の修繕措置を実施することで、土木施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減を図りたい。また、国の社会資本整備交付金を活用しながら、市管理の土木施設の維持管理に努めていく。



本多 勝実

[市政刷新会議]

一般質問

今後の財政運営は

中学校の部活動のあり方を問う

- 問** 本市の今後の財政運営とそのリスクは。
- 答** 財政指標の硬直化や交付税減少を含め、年々運営がきびしくなっている。限られた財源の中で、サービス維持・向上に今後も努めていく。
- 問** 縮小方向だった3年先までの財政計画が、今年から急に拡大方向へ転じているのはなぜ。
- 答** 除染事業が約50億円。その他まちづくり等がある。今後も市民ニーズに応じた運営を心がけていきたい。

- 問** 生徒の減少で、中学校のスポーツ関連の部活動が成り立たなくなっている。国でも、合同化・地域化に改編する動きがあるが。
- 答** 国の動きは承知している。生徒の希望する部活動が学校にないことは教育的に大きな課題だ。全国的な問題でもあり、複数学校での合同部活動や地域スポーツクラブでの大会参加も検討されている。今後、国や県の動向を注視し、学校や地域・保護者の声を参考に、生徒のより良い環境整備づくりをしていく。

一般質問

岩代国保診療所の医療体制の充実は

学校の適正な規模・配置の長期的計画策定は



堀籠 新一

[真誠会]

- 問** 岩代国保診療所の後任医師確保や現医師との勤務延長対策を含む医療体制の充実を問う。
- 答** 県の地域医療支援センターと協議し「ドクターバンクふくしま」に登録したが、医師確保には至っていない。だが、現医師のご厚意により平成30年度は勤務延長の同意をいただき、地域にとって重要な医療機関であるので、医師・看護師を含め、現在の体制を維持していく。
- 問** 複式学級の現状と今後の推移及び学校の適正規模、適正配置の長期的計画策定の見解は。

- 答** 複式学級が編制されているのは安達太良、原瀬、新殿、旭小学校の4校。平成35年度までの5年間も現在の4校で継続し、複式学級数も増える見通しである。長期的計画は、過疎化の進行や少子化の影響から複式学級が増加する中で、小規模校は学校教育本来の機能に影響を及ぼすことから、さまざまな状況を勘案し、統合を含めた学校再編整備の検討に着手したいと考える。地域の意見・要望を聞き、合意を図りながら進めることが重要であると考えている。



小林 均

[公明党]

一般質問

新入消防団員の準中型免許取得への助成を

漫才教育の導入でコミュニケーション力向上へ

- 問** 道交法の改正により、普通免許では3.5 t以上のポンプ車の運転が不可となった。新入消防団員への助成等を考えるべきと思うが。
- 答** 準中型免許の取得に対する助成については、実現の方向に向けて、消防団の幹部会とも十分協議をして、対応していきたい。
- 問** 女性消防団員の加入促進への市の取組みは。
- 答** 昨年4月から女性消防団員の募集を始めたが、現在まで入団者は無い。今後も女性団体等に対して積極的な加入促進を図っていきたい。

- 問** 2月に市内5つの小学校でプロの漫才師を招き、「笑学ワークショップ」が実施された。この出前授業は漫才を通してコミュニケーション能力を育てることが目的で、児童の声から効果があったと思う。今後の市の取組みは。
- 答** この事業は、いじめや学級崩壊などの要因の一つである子供たちのコミュニケーション能力の不足を補うものであり、漫才の実践を通して、同能力の育成を図る意味でも大きな効果がある。今後も機会があれば導入したい。